

平成 27 年 3 月 23 日

各 位

会社名 出光興産株式会社
代表者名 代表取締役社長 月岡 隆
(コード番号：5019 東証第1部)
問合せ先 経理部IR室長 橋床泰治
(TEL：03 - 3213 - 9307)

豪州ボガブライ石炭鉱山 一部権益の譲渡について

当社（本社：東京都千代田区、社長：月岡 隆）は、本日、豪州現地法人ボガブライ・コール社^{※1}（Boggabri Coal Pty Ltd.、社長：成内 伸一）が保有するボガブライ鉱山の権益 10%を、新日鐵住金株式会社（本社：東京都千代田区、社長：進藤 孝生、以下「新日鐵住金」）の豪州現地法人 NS・ボガブライ社（NS Boggabri Pty Limited、社長：野村 忠司）に譲渡し、同鉱山からの石炭の長期売買契約を締結することといたしました。^{※2}

※1 出光興産の 100%出資会社である出光オーストラリア・リソーシズ社の 100%出資子会社

※2 関係当局による認可など諸条件が整い次第、権益譲渡契約の発効となる見通し

1. 一部権益譲渡の目的

ボガブライ鉱山は豪州ニューサウスウェールズ州に位置し、高発熱量で低硫黄・低灰分の高品位炭を年間約 560 万トン（2014 年）生産しております。昨今、石炭火力発電所の新設が計画されている日本およびアジアで需要が伸びていることから、本年には年産 700 万 t 体制への移行と、選炭機導入による高品位化及び鉄鋼用原料炭生産を予定しております。

当社は昨年 8 月にボガブライ鉱山権益の 10%を中国電力株式会社に譲渡致しました。今回、新日鐵住金への 10%権益譲渡および石炭長期売買契約により、日本国内における石炭の大口需要家である電力・鉄鋼産業から鉱山操業のパートナーを迎え入れることができました。このことは鉱山経営の安定化に大いに資するものであり、ひいては我が国のエネルギーセキュリティの貢献に繋がるものと考えます。今後も石炭利用技術のさらなる向上を図りながら、日本およびアジアの鉄鋼会社への販売を強化してまいります。

当社は今後も石炭商品のラインアップの充実と供給基盤の安定化を進めるとともに、保有資産の競争力強化、ポートフォリオの組み替えに努め、出光グループ第 4 次連結中期経営計画で掲げた石炭事業再構築をより一層進めていきます。

2. 契約の概要

- (1) 契約者：買主；NS・ボガブライ社
売主；ボガブライ・コール社
- (2) 権益比率：10%
- (3) 内容：ボガブライ石炭鉱山の鉱区、資産の 10%を譲渡する。

3. ボガブライ鉱山の概要

- (1) 所在地：豪州ニューサウスウェールズ州
- (2) 操業会社：ボガブライ・コール・オペレーションズ社（Boggabri Coal Operations Pty Ltd.）
- (3) 生産開始：2006 年
- (4) 鉱区面積：約 3,872 ヘクタール
- (5) 採掘方法：トラック・アンド・ショベル法による露天掘り
- (6) 石炭品位：瀝青炭（燃料用一般炭および鉄鋼用原料炭）
- (7) 生産量：約 560 万トン／年（2014 年実績）
- (8) 特徴：高発熱量・低硫黄・低灰分で、かつ原料炭特性（粘結性）を有する石炭

(9) 権益比率（権益譲渡後）：ボガブライ・コール社	80%
中国電力・オーストラリア・リソース社	10%
NS・ボガブライ社	10%

4. 業績への影響

本件による当社グループの2014年度連結業績予想への影響はありません。

以上

(参考資料) ボガブライ鉱山位置図

